

# みなかみもりの家

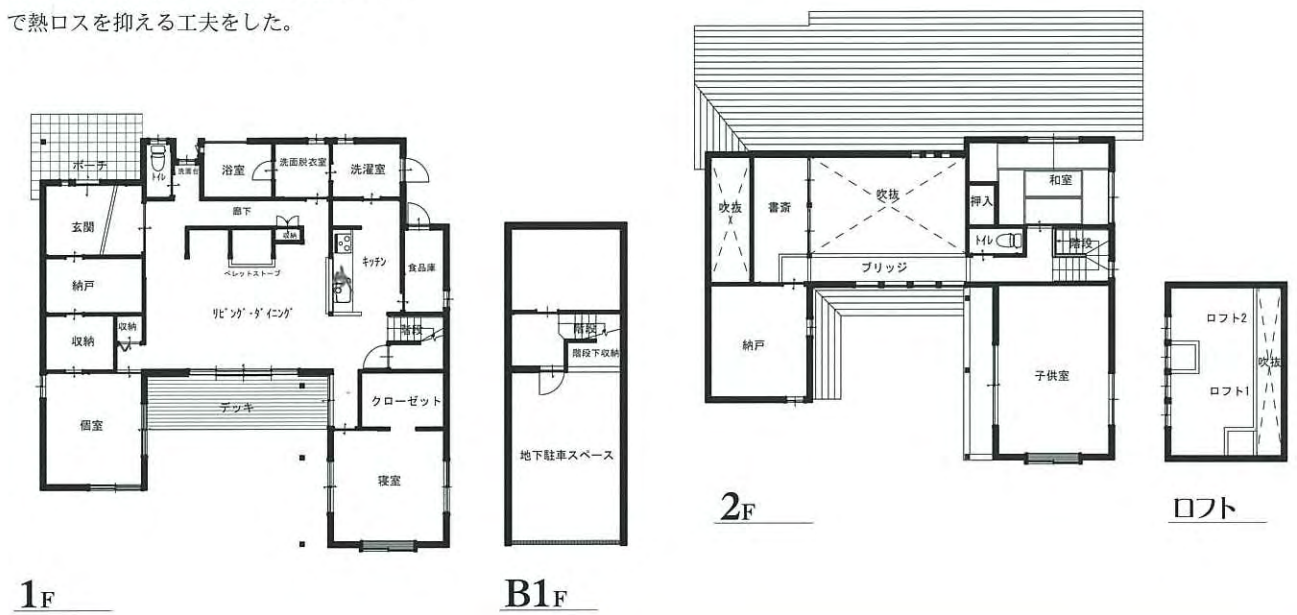
設計者／一級建築士事務所 ビオフォルム環境デザイン室  
施工者／沼田土建株式会社



## 設計趣旨 CONCEPT

三世代の家族が、それぞれほどよい距離感を保ちながら、つながる空間構成。南側の山と森の風景を切り取るコの字型の配置計画。居間空間がそうした構成のハブになるようにした。地元の材として杉、桧を構造材、内装材に使用し、内外装に住まい手と環境に負荷をかけない、自然素材を主体として活用した。北側には水回り空間を配置したが、厨房、食品庫からの回れる便利な動線を確保した。雪国らしく、玄関での多様な動作が可能のように、広くとり、納戸とつながるようにした。室内の温熱環境に配慮し、次世代省エネ基準を達成している。障子などを断熱のツールとして活用、また水回りや納戸を外周部に配置することで熱ロスを抑える工夫をした。

## 平面図



## 講評 REVIEW

みなかみの大自然のなか、三世代の家族がほどよい距離感をもって生活し、南側の山と森の風景をとりこむためのコの字型平面をもった住宅です。

群馬県の杉、桧を構造材、内装材としてふんだんに使い、居間の大きな吹抜けは大きな梁と木組により、豊かな森林資源をもった『ぐんま』を感じられる圧倒的な空間となっています。

雪国の生活に対応して広く取った玄関廻りや、水廻り、収納を外周部に配置することで使いやすい動線と断熱性能の確保をするなど、その場所にあったすまいの基本性能を持った計画となっています。また、薪ボイラーを利用した給湯、暖房により、森林資源の有効活用を行なうなど省エネルギーにも配慮した、自然を享受しながら、自然と共に暮らすすまいとなっています。

